

10 月 16 日：VN 指数は反落 (VN-Index -1.15%)

- 取引開始直後はわずかに上昇する場面があったが、VN 指数は 6 日続伸していたこともあり、午前中のほとんどの時間を下落して終えた。
- 金融サービスセクターが下げを主導した。その後、売りは銀行、不動産にも広がり相場は下落幅を広げていった。
- 午後になり、直近の営業日と同様の反発を期待した買いが入る場面も見られた。
- しかしながら、売り圧力は強く、引けにかけて売りが優勢となり、指数は下落して取引を終えた。
- 114 銘柄が上昇、393 銘柄が下落、変わらずは 43 銘柄と幅広い銘柄が売られていた。
- 流動性はわずかに改善し、売買代金は 15.2 兆ドンだった。

VN30 指数は下げを主導 (VN30 -1.15%)

- 大型株で構成する VN30 指数は 6 銘柄が上昇、23 銘柄が下落、1 銘柄は変わらずだった。
- VHM (-2.88%)、HPG (-2.91%)、BID (-2.00%)、VIC (-2.39%) の下落が相場を押し下げた。
- 一方、GAS (+1.28%)、SAB (+1.14%)、VPB (+2.51%) といった銘柄は大きく上昇していた。

セクター・個別株の動き

- 中東でのイスラエルーハマスの衝突を受けて、原油価格が再び上昇しており、PVC (+2.72%)、PVS (+2.01%)、PVD (+0.88%) といった石油ガスセクターが大きく上昇した。
- VDS (+3.53%) は逆行高。第 3 四半期の税引き前利益が 4.5 倍となり、年初来九か月で年間計画の 118%を完了した。

- 外国人投資家は 8,280 億ドルの売り越しとなった。MWG と FPT が大きく売られていた。一方、目立った買い越し銘柄は無かった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。